

## 平成30年度 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校 自己評価票

### 【本校の目指す学校像】

日本大学の教育理念である「自主創造」に則り、校訓として「健康」「有為」「品格」を掲げ、附属校の特性を生かして中学・高校・大学の10か年教育の展望とゆとりをもって、心身ともにバランスのとれた豊かな人間形成と国際的素養の育成を目指す。

### 【本校の特長及び課題】

具体的な教育目標は、基礎学力の向上、しつけ教育の徹底、特別活動の奨励であり、進路に関しては、日本大学はもちろん、日本大学以外の難関私立大学や国立大学も視野に入れた教育も行う。今後の課題として、併設中学校及び高校1年次からの特進クラス設置に伴い、進学実績のさらなる向上があげられる。

### 平成30年度の取組結果

#### 【概況】

魅力的な学校紹介を行う広報活動により、本校への志願者を増やし、安定した入学者を確保する。充実したカリキュラムにより基礎学力を向上させ、日本大学をはじめ生徒が希望する進学先に入学できるようにサポートする。また、本大学の教育理念「自主創造」を十分理解し実践できる生徒の育成に尽力する。以上の事を念頭に置きそれぞれの部で目標達成に向かって様々な取組を行っている。さらに、教職員会議・校務運営委員会を中心に会議や委員会活動で発な意見交換を行い、精進努力をしている。

#### 教育活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
「新学習指導要領」や「高大接続改革」施行に向けての取組	<p>2022年度から年次進行で始まる高校新教育課程に向けて、多くの研修会に参加して情報を収集している。教務部内で作業チームを作り、大枠を設定した上で、教科で詳細を検討できる段階まで提示する予定である。</p> <p>高大接続改革については、「大学入学共通テスト」並びに「英語4技能への対応」として、民間検定のうち実用英語技能検定（英検）とGTECの2つを推奨することとなった。</p> <p>12月に生物資源科学部生と本校の高校1・2年生で生物資源科学部に興味を持つ人で初めて交流会を実施した。約8割の生徒が「大変良かった」「良かった」と答えている。また、高大連携教育は今年度までの5学部対象から、次年度は7学部に拡大する予定である。これにより、生徒の様々なニーズに出来る限り対応できるものとする。</p>	A

#### 学校生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
いじめ防止のための取組	<p>いじめを学校は許さないという姿勢で、軽微ないじめも組織的に対応できるようにしている。いじめ対応チームで動き、報告・連絡・相談を密に行い、連携して対応できる体制をとっている。</p> <p>いじめ防止のためのアンケート実施及びリーフレットを用い、いじめの防止・早期発見につなげている。</p> <p>中学全学年において、“いのちの大切さを学ぶ教室”を実施している。</p> <p>外部講師を招いて教員対象にいじめ対策講演会を実施した。来年度は保護者や生徒</p>	A

	向けにも講演会を企画している。	
しつけ教育の徹底	全体集会において、しつけ教育や良好な人間関係について教育している。 学年集会等で身だしなみチェックを各学期に実施している。	B
防災意識の定着	防災訓練を年2回（火災・地震）実施した。 交通機関別帰宅指示を訓練に継続導入している。 訓練時に緊急時の対応として、事務室を本部として校長指示により、安全の確認訓練を導入している。 毎年3月に教員防災訓練研修を実施し、生徒を安全に避難させる確認を行っている。	A

#### 課外活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
生徒による自主的な生徒会活動の推進	日本大学「NU祭」や日本大学体育大会に参加し、付属高校での交流を深めている。 生徒会の運営や学校行事等の立案・計画・運営等が生徒の自主性によってなされ、生徒会会員生徒の生活が充実したものとなるように貢献している。	A
生徒会活動への理解	学校行事、各委員会実施などにより生徒会活動への理解を得ている。生徒総会において活動報告や委員会活動の報告を行っている。また各学期の始業式、終業式での生徒会タイムで活躍した部活動の表彰や壮行会を行っている。	A

#### 進路指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
日本大学への進学者数増加に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学祖山田顕義先生と日本大学及び日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の成り立ちについて、日本大学企画広報部広報課より講演者を招き、高校1年生と中学1年生を対象として11月に講演会を実施した。これによって日本大学や自校に対する愛校心・帰属意識の高揚を目指した。</li> <li>・日本大学学部説明会を、高校2・3年生を対象として6月に実施し、複数学部の説明を聴講できるよう時間帯に配慮して各学部の魅力を生徒に伝えた。今年度も平日実施としたが、部活動が盛んな本校の場合、この時期の週末に実施する場合、試合・大会で参加人数が限られるため、基本的に全生徒が登校する平日、基礎学力到達度模試の翌日に設定し、学校行事として実施した。</li> <li>・日本大学個別進学相談会を、三者面談の時期に合わせて高校1～3年生の保護者・生徒を対象として7月に実施し、保護者・生徒個々の興味・関心に合わせた進学相談を行った。</li> <li>・日本大学生物資源科学部学科説明・施設等見学会を、高校1～3年生の生徒を対象として7月に実施し、各学年の興味・関心に合わせて大学の魅力を伝えた。</li> <li>・本校卒業の日本大学生物資源科学部学生と本校生徒との交流会を12月に実施した。高校1～2年生約40名の生徒が参加し、大学生からの学生生活の紹介や高校生からの質問などが活発に行われた。</li> <li>・高校3年生を対象にとして7月に学年集会を設け、日本大学への推薦入試の具体的な手順や対策を伝え、日本大学への進学対策である勉強合宿や夏季講習への参加を促した。</li> <li>・高校全学年で日本大学進学ガイドを配布、進路指導室内に日本大学専用の書棚を</li> </ul>	A

	<p>設けて大学案内・受験報告書（卒業生からのアドバイス）等を並べているほか、2階廊下にも日本大学の情報を掲示し、資料は持ち帰り自由として書棚に並べている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導室内に日本大学統一テスト・基礎学力到達度テスト及びその模擬試験問題、対策問題集を保管して専任・非常勤問わず教員に開放し、試験対策に役立っている。</li> <li>・付属特別選抜の学内選考を基礎学力選抜方式のセレクション後に実施することで、生徒が一番に希望する学部への入学を増やし、入学後のミスマッチを減少させている。</li> <li>・以上の取組を通して日本大学進学を推奨した結果、日本大学への推薦入学合格者が前年度の44.8%から46.4%となった。</li> </ul>	
国公立、難関私大進学者に対する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1～3年で各学期に対応した進路ガイダンス、新年度開始後の二者面談、長期休暇前の三者面談を通して進学への意識を高め、長期休暇ではオープンキャンパスへの参加を奨励した。</li> <li>・高校2～3年生で一般受験ガイダンスを実施し、予備校・塾の担当者による受験に関する講演を行った。</li> <li>・高校1～2年生で特進クラスの生徒を対象に難関国公立大学の見学と同大学生とのワークショップを実施し、生徒の進学に対する興味・関心を喚起した。</li> <li>・高校2～3年生で特進クラスの生徒を対象に、校内実施の模試とは別に公開会場での模試受験を課し、実際の入試に近い形を経験させている。</li> <li>・高校3年生で校内においてセンター試験プレテストを実施するとともに、塾講師による特別演習を実施した。</li> <li>・外部模試受験を奨励し大学受験のための環境を作った。また、11月にも出願指導ガイダンスを行っている。</li> <li>・進路指導室内に、図書室で保管期限を過ぎて廃棄対象となった国公立大学・難関私大の古い赤本・問題集を保管・陳列することとし、書店で購入できないことから受験生が盛んに利用している。</li> </ul>	A
日本大学進学を目指す生徒指導をする。併せて国公立・難関私大受験を希望する生徒の育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学全学年にわたり、予備校・塾の担当者による実力テストの活用方法や将来に関する講演を行っている。</li> <li>・中学3年では学力推移調査を実施し実力試験の結果を踏まえ、三者面談等で学力向上のための指導をした。日本大学藤沢高校へ123名中122名が進学を希望している。</li> </ul>	A

#### 保健衛生

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
健康診断の適切な実施	5月に中高全学年の健康診断を実施した。実施に当たり、全教職員の協力が得られ、生徒の健康状態を把握することができた。 結果の返却により、生徒自身も健康状態を把握できた。	A
事故発生状況の報告	事故発生時の状況を迅速に報告し、関係部署が状況を確実に把握することができた。	A
AED及びアレルギーに関する研修会の実施	5月に教職員対象のAED研修会を実施した。同時にアレルギーについての研修（エピペンの使用方法やアナフィラキシー症状について）を実施し、非常勤講師も含	B

	めた教職員への啓もうが進んだ。	
感染症対策	手洗いうがい、教室の換気を奨励し、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染防止に努めた。	A

## 図書

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
図書室の改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉室時間を 16:30 から 18:30 に（土曜日は 13:10 から 15:30 に）、テスト期間中も 15:30 から 16:30 までに延ばし、夏期講習期間や冬期講習期間中も利用できるように、利用日を増やした。</li> <li>蔵書のデータ化（バーコード化）を実施したことにより、書物の検索をはじめ図書貸出が利用しやすくなっている。</li> <li>図書検索カード収納棚を撤去し、その後に雑誌棚を新たに設置した。今年度より雑誌の種類を前年度の倍の 48 種類に増やすとともに、癒しの効果が得られるリラクスペースを設置した。</li> <li>廃棄図書の処理を年 2 度に分けて実施し、全ての廃棄図書を教職員全員に知らせ、要求がある図書は希望者に配付した。</li> <li>同窓会の支援のもと、学習参考書コーナーの充実を図った。</li> <li>赤本コーナーの充実と貸出の利便性を見直した。</li> </ul>	A
委員会活動及び読書指導の活発化、室内環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の委員会活動は例年どおり「カウンター係」、「管理・環境係」、「広報係」の 3 班に分かれて活動を行い、与えられた仕事を確実にこなしている。広報班は年に 5 回「図書だより」を作成してクラス掲示し、読書の啓もうを図った。</li> <li>明るく利用しやすくなる図書室を目指し、入口ドアへのイラスト等の貼付、「新刊図書案内（年 4 回）」の発行及びクラス掲示、また、雑誌の付録の配付（抽選）等、いろいろな工夫をした。</li> <li>学習室としての利用者も増え、昨年度よりもさらに多くの生徒が利用するようになった。特に定期テストの期間は室内が満員になることもあり、荷物を置く棚も利用しやすいもの買い替えて設置し、使いやすく整理しやすい環境を整えた。</li> <li>空気清浄器を 3 台購入設置し、特に書庫の環境向上を図った。（カビ対策のための換気）</li> </ul>	A

## 広報

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
本校の P R	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校案内に、広大な敷地がある中でアクセスが良いという環境の良さを分かりやすく掲載し、受験生・保護者に本校の良さを知ってもらった。</li> <li>学校案内パンフレットをホームページに掲載し、相談会等に参加できない他県の受験生・保護者にも情報を発信した。</li> <li>ドローンを使った学校紹介 D V D を制作し、学校説明会で本校の環境の良さのイメージを植え付けた。</li> </ul>	A
生徒の募集活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員で説明会・相談会に対応し、安定的な志願者数の確保と、受験生の学力層のアップを図った。学内で実施の説明会等は生徒の良さを伝えた。</li> <li>夏休みの学校見学会の回数を増やした。</li> </ul> <p style="text-align: center;">夏休みの個別学校見学会参加者数</p>	B

			2018年度	2017年度	
	小学生	参加組数	10	3	
		参加人数	19	9	
	中学生	参加組数	225	55	
		参加人数	448	103	

### 管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
生徒による学級経営に関する評価アンケート実施	「生徒による学級経営に関する評価アンケート」の実施目的は、ホームルーム活動での様々な項目の指導が的確に行われ、クラス間で生徒の不利益が起きないことを目的としている。また、教育目標（校訓や三つの指針）が高いレベルで達成されるための指標となるものにしたと考えて実施している。	A
安定した生徒募集	平成31年度高校入試の際の内申基準は変更せずに、近隣及び成績優秀な中学校に対して基準の緩和措置を実施し、また、説明会や見学会での様々な工夫と努力を行ったが、生徒募集において出願数を伸ばすことはできなかった。	C

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

### 平成31年度の取組目標及び方策

#### 教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
「新学習指導要領」や「高大接続改革」施行に向けての取組	新学習指導要領に関わる各教科の研修会への積極的な参加を継続し、得られた情報をもとに教務部内で検討し、学習指導委員会へ図る。 英語の民間検定については、英語科と連携をとりながら、現行と大きく変わる内容を理解し、年間行事に組み込めるようにする。	高校新教育課程への対応として、平成30年度中に大枠を設定し、平成31年度以降は各教科で詳細な検討を始める。平成31年度からの中学新教育課程では、道徳の教科化に対応すべく、関係教員間で密に連絡をとる。
基本的な生活習慣の確立	サイバー犯罪防止教室 交通安全教室の実施 ネットいじめ対策講演会実施予定	平成31年4月27日実施予定 平成31年5月25日実施予定 平成31年4月～6月実施企画中

#### 学校生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
いじめ防止のための取組	全体集会や学年集会等でいじめ防止や人を思いやる気持ちについて考えさせる。 いじめ防止リーフレットを活用し、いじめの防止・早期発見に努める。 いじめ防止アンケート継続実施と結果を踏まえ啓発指導をしていく。	学年始めに、いじめ防止のためのリーフレット（教員用・家庭用）を配布し学年集会・保護者会で活用する。 2学期にいじめ防止アンケートを実施する。 いじめ防止アンケートの結果を踏まえ、必要に応じて学年集会を開き、いじめ防止の集会を実施する。
基本的な生活習慣の確立	全教員で共通認識をもち、基本的な生活習慣の確立	学期ごとに身だしなみチェックを

	に取り組む。	実施する。全体や学年集会において、身だしなみ、立ち振る舞いを注意喚起する。
SNS上の問題への対処	SNS上での問題の大きさを理解させ、防止に努める。	中学・高校共に1年次に「サイバー犯罪防止教室」を継続実施する。保護者・生徒対象のネットいじめの講演会を新規に実施予定である。

#### 課外活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
生徒による自主的な生徒会活動の推進	生徒による生徒会行事等の計画・立案・運営など積極的に取り組める体制をつくり、生徒の意見が反映できる活動を行う。	年間を通して委員会活動を活発に行い学校行事に取り組む。

#### 進路指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
日本大学への進学者数増加に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学祖山田顕義先生と日本大学、自校について学ばせ、愛校心を養うとともに日本大学への関心を深めさせる。</li> <li>・高校1年では日本大学の付属推薦入試制度を説明し、日本大学の魅力を伝える。</li> <li>・高校2・3年では各学部学科の内容を知らせ、希望学科を確立させ進学意欲を高める。</li> <li>・高校1～3年で、日本大学へ生徒が足を運ぶ機会を設け、その魅力を伝える。</li> <li>・高校全学年で、日本大学各学部に関する情報を積極的に配信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンス</li> <li>・進路講演会</li> <li>・日本大学進学ガイドの配布</li> <li>・日本大学学部紹介DVD放送</li> <li>・日本大学学部説明会実施</li> <li>・各学部個別進学相談会実施</li> <li>・日本大学生物資源科学部学科説明・施設等見学会</li> <li>・日本大学生物資源科学部学生との交流会</li> <li>・オープンキャンパス参加奨励</li> <li>・進路指導室の資料設備充実、常駐する進路担当者の増員</li> <li>・「Classi」を利用した日本大学各学部の情報配信</li> </ul>
日本大学進学への奨励と、国公立、難関私大進学者への指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生では基礎学力向上のため、日々の学習時間を確保させる。</li> <li>・中学1・2年では職業観を育成し進路意識を伸ばさせる。</li> <li>・高校1・2年では進学のための学力向上と進路決定の準備を指導する。</li> <li>・高校3年は日本大学進学を目指し説明会等を実施する。また大学受験のための環境作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《中学》</li> <li>・進路講演会・面談・学力推移調査の実施</li> <li>・職業体験実施・進路ガイダンス</li> <li>《高校》</li> <li>・学習生活調査・三者面談・オープンキャンパス参加奨励</li> <li>・進路ガイダンス・日本大学学部説明会、大学説明会実施・外部模試受験奨励</li> </ul>

#### 保健衛生

取組目標	取組方策	取組スケジュール
健康診断 AED・アレルギー 研修会	全学年の健康診断を実施する。 全教職員に対して、健康診断を実施する。	5月に実施する。
感染症対策と事故災 害報告書の徹底	うがい・手洗い等呼びかけ、感染症予防に努める。 生徒保健委員による感染症予防ポスターの作成、掲 示を行う。 事故災害に関する報告の徹底を図る。	年間を通じて実施する。

## 図書

取組目標	取組方策	取組スケジュール
生徒委員会による図 書業務の継続及び広 報活動の活発化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒委員会による継続的な図書業務に関わる自主 的な活動の見直しをする。</li> <li>生徒参加による広報活動の推進を図る。</li> </ul> ①「図書だより」の発行 ②「新刊図書案内」の発行 ③季節感や時代の流れが感じられる表示の作成等	4月より随時実施していく。
図書室利用の利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書のデータ化（バーコード化）の継続 （31年度中に完了予定）</li> <li>図書検索カード及び収納棚の撤去に伴う雑誌コー ナーの充実及びDVD購入の推進</li> <li>学習参考書類及び赤本コーナーの充実</li> <li>図書室（特に書庫）の環境向上</li> </ul>	4月より順次実施していく。

## 広報

取組目標	取組方策	取組スケジュール
本校のPR	360° バーチャル体感できる施設写真を掲載しアク セス数を増やし、本校の環境の良さをアピールする。 ホームページリニューアルを検討し本校の良さを視 覚的にPRしていく。	平成30年度に検討しており、平成 31年度から実施する。
	複数行っている学校説明会の内容が重複しないよう にし、毎回本校の違った良さを受験生に伝えていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月中学校説明会で実施する。</li> <li>6月中学校見学会で実施する。</li> <li>7月・8月オープンスクール／高 校学校見学会で実施する。</li> <li>11・12月の入試説明会で実施する。</li> </ul>
生徒募集活動	中学受験では重点塾を分析して決定し重点塾訪問を していく。	10月に実施する。
	新規に参加する外部相談会を検討する。	平成30年度に検討している。

## 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
計画的な教員採用	退職教員の補充については、計画的に行われている。	4月採用で対応する。

	また、産休・育休・時短に対する担任補充は常勤講師の採用でまかなう。	
--	-----------------------------------	--

## 中長期的目標の取組結果

### 教育活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
I C T教育の推進	昨年度までプロジェクター・スクリーン設置教室が2つしかなかったが、今年度は4教室まで拡大することができた。多くの教員がアクティブ・ラーニング型の授業を展開し、「思考力・判断力・表現力」の育成に努めている。	B

### 学校生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
教育相談の充実	日本大学本部からのカウンセラー派遣を継続する。 その他の日は教育相談系の教員で対応する。	B
校内美化	通常の清掃をきちんと行う。 大掃除の際には、さらに細部まで徹底して実施する。 部室に設置した、分別用ゴミ箱を活用しゴミの分別を徹底する。	A

### 課外活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
生徒による自主的な生徒会活動の推進	生徒を中心に関係教員と協力して学校行事を早期から準備し、各クラス、委員会、クラブの協力を得て実施することができている。日本大学「NU祭」、日本大学体育大会等に参加し、附属学校間の生徒交流を深めている。	A
生徒会活動への理解	生徒総会の実施や各委員会の実施、情報発信のための掲示、放送等による連絡事項の徹底などにより理解を求めることができた。	A

### 進路指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
日本大学進学希望生徒の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月に日本大学学部説明会を実施し、7月に日本大学個別進学相談会、日本大学生物資源科学部学科説明・施設等見学会を実施した。また、高校3年生には7月に学年集会で日本大学推薦入試の具体的な説明と日本大学進学に向けた勉強方法の指導を行った。</li> <li>高校全学年で日本大学進学ガイドを配布、進路指導室内に日本大学専用の書棚を設けて閲覧自由とし、三者面談期間はクラス面談の前後に進路指導室で係教員が相談に応じた。</li> <li>5月の二者面談で生徒の進路希望を確認し、7月の三者面談で家庭との意思疎通を図り、9月初旬には主に附属特別選抜に関する面談日を設けている。基礎学力到達度テストを終えた後、10月中旬にも日本大学進学希望生徒を対象として三者面談日を設け、希望用紙を提出させている。いずれも学内締切りと出願まで期間を空けることで、学部・学科を変更したい等、家庭からの不測の要望に備え、入学後のミスマッチを減少させている。</li> <li>以上の取組を通して日本大学進学を推奨した結果、日本大学への推薦入学合格者</li> </ul>	B



	が前年度の 39.8%から 44.8%へ増加し、在籍 397 名中 178 名が日本大学進学を決定している。	
国公立と難関私大受験者指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部教諭による進路ガイダンスや外部講師による進路講演会を通して進学への意識を高め、長期休暇ではオープンキャンパスへの参加を奨励した。</li> <li>進路指導室内に、図書室で保管期限を過ぎて廃棄対象となった国公立大学・難関私大の古い赤本・問題集を保管・陳列することとし、書店で購入できないことから受験生が盛んに利用している。</li> <li>外部模試受験を奨励しセンター試験プレテストを校内で実施した。158 名がセンター試験を出願した。</li> </ul>	A

### 保健衛生

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
生徒自身の自己管理の推進	担任と連携して教室の衛生状態を確認し、換気、手洗いうがい、マスクの使用などの徹底が図れた。	A
海外修学旅行のための麻しん・風しんの予防接種	高校 1 年生の 11 月から接種回数の調査を実施し、接種回数が不足している生徒には保健室から接種を促し、徹底した。	A
非常事態時の対応	防災訓練時、体育祭実施時に救急医療スペースを設置した。 AED の使用方法など、研修を通じて周知している。	A

### 広報

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況																																														
中学校志願者増	<p>①生徒による学校紹介 学校説明会では生徒に学校生活についてのインタビューをし、文化祭では相談コーナーに参加してもらい、オープンスクールでは校内を受験生・保護者に案内してもらい本校生徒の良さを伝えた。 生徒に出身塾に訪問してもらい、塾の先生に本校の良さをPRし、本校の公開イベントを宣伝してもらった。</p> <p>②志願者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>志願者</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">昨年度</td> <td>第 1 回</td> <td>154</td> <td>103</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>172</td> <td>133</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今年度</td> <td>第 1 回</td> <td>142</td> <td>92</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>167</td> <td>132</td> <td>299</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>受験者</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">昨年度</td> <td>第 1 回</td> <td>146</td> <td>100</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>140</td> <td>102</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今年度</td> <td>第 1 回</td> <td>142</td> <td>90</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>128</td> <td>105</td> <td>233</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>志願者、受験者ともに減少した。</li> </ul>			男子	女子	計	昨年度	第 1 回	154	103	257	第 2 回	172	133	305	今年度	第 1 回	142	92	234	第 2 回	167	132	299			男子	女子	計	昨年度	第 1 回	146	100	246	第 2 回	140	102	242	今年度	第 1 回	142	90	232	第 2 回	128	105	233	C
		男子	女子	計																																												
昨年度	第 1 回	154	103	257																																												
	第 2 回	172	133	305																																												
今年度	第 1 回	142	92	234																																												
	第 2 回	167	132	299																																												
		男子	女子	計																																												
昨年度	第 1 回	146	100	246																																												
	第 2 回	140	102	242																																												
今年度	第 1 回	142	90	232																																												
	第 2 回	128	105	233																																												

高等学校 志願者増	<p>①学校が育てる人間像を明確にする。</p> <p>受験生に実施したアンケートで、「校風」が本校の魅力であるという回答が約48%で、全17項目のうち3番目に高い数字であった。</p> <p>②施設の良さをアピールする。</p> <p>受験生に実施したアンケートで、「施設」が本校の魅力であるという回答が約71%で、全17項目のうち1番目に高い数字であった。</p> <p>③日本大学の付属としての利点を説明会で伝える。</p> <p>第一志望での受験者のうち約60%が「日大付属校」が本校の魅力と回答した。</p> <p>③進学校としての魅力を説明会で伝える。</p> <p>受験者のうち約49%が「進学実績」が本校の魅力と回答した。</p> <p>④志願者数</p> <table border="1" data-bbox="483 645 1350 786"> <thead> <tr> <th></th> <th>推薦入試</th> <th>一般入試（専願）</th> <th>一般入試（併願）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>74</td> <td>164</td> <td>879</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>67</td> <td>117</td> <td>628</td> </tr> </tbody> </table> <p>・昨年に比べて志願者が減少した。</p>		推薦入試	一般入試（専願）	一般入試（併願）	昨年度	74	164	879	今年度	67	117	628	C
	推薦入試	一般入試（専願）	一般入試（併願）											
昨年度	74	164	879											
今年度	67	117	628											

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

## 中長期的目標及び方策

### 教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
ICT教育の推進	生徒所有のタブレット型PC導入については、機種を選定したが、Wi-Fi環境の整備中である。	本格導入は中学が5月頃、高校は2学期になる予定である。また、新年度の早期に、プロジェクター・スクリーン設置教室を拡大する予定である。

### 学校生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
いじめや暴力・体罰のない学校を目指す。	何かあったら信頼できる大人（教員）や友人に話せる環境を作り、相談できる体制を整える。 いじめを見逃さないように、生徒の様子に注意を配る。いじめへの防止教室・講演会の実施し、啓発教育を行う。	平成31年4月1日 ～平成32年3月31日 いじめ防止教室・講演会 平成31年4月～6月末までに実施予定である。

### 課外活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
生徒による自主的な生徒会活動の推進	生徒会行事に対する生徒からのアンケートをとる。生徒会担当教員と生徒会役員の連絡、打合せを定期的に行うことで互いの理解を深める。	生徒会行事が終了したら、生徒からのアンケートをとり、必要があれば委員会等で次年度に向けての改善策を話し合う。月ごとに生徒会役員と生徒会担当教員でミーティングを行う。

### 進路指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
日本大学進学希望生徒の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力到達度テストに向けて学力向上を図る。</li> <li>・日本大学の魅力を生徒に伝えるため、その情報に触れる機会を多く設ける。</li> <li>・大学説明会やオープンキャンパスへの参加を奨励し、大学進学への具体的志望理由を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインサービスを利用した学習到達度の測定や、実力テストの復習を徹底させる。</li> <li>・学部説明会・個別進学相談会を実施・各学部オープンキャンパスへの参加を奨励する。</li> <li>・進路指導室の資料・設備を充実させ、担任・学年と連携して生徒に情報を提供する。</li> <li>・日本大学各学部の刊行物・掲示物を生徒に配布、学内に掲示し、AO入試等の情報を着実に提供する。</li> </ul>
国公立と難関私大受験者指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター試験・個別入試に向けて学力を向上させる。</li> <li>・各大学説明会やオープンキャンパス参加を通して志望校に進学する意識を高め、具体的志望理由を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンス・外部模試受験奨励・センター試験プレテスト実施</li> <li>・各大学説明会実施・オープンキャンパス参加奨励</li> </ul>

#### 保健衛生

取組目標	取組方策	取組スケジュール
生徒自身の自己管理の推進	担任との連携を密にし、予防のための手洗いうがい、マスク着用等の使用を励行し、予防を徹底させる。	年間を通じて実施する。
海外修学旅行のための麻しん・風しんの予防接種	高校1年生から予防接種回数の調査を行い、不足している生徒に対して個別に呼びかけ、徹底させる。	高校1年生対象 11月調査実施 3月予防接種完了
非常事態時の対応	緊急時に備え、防災訓練時に救急医療場所を確保・設置する。	春・秋季防災訓練時に実施する。

#### 広報

取組目標	取組方策	取組スケジュール
中学校志願者増	魅力的な学校紹介を行う。生徒による学校紹介や塾生後輩への働きかけ、オープンスクールでの案内など、本校生徒の良さを伝える。	5月 学校説明会、在校生の出身塾訪問 6月 文化祭、学校見学会 7・8月 オープンスクール 11月 入試説明会
高等学校志願者増	学校が育てる人間像を明確にする。 施設の良さをアピールする。	6月 文化祭

	日大の付属としての利点, 進学校としての魅力を説明会で伝える。	7・8月 学校見学会 11・12月 入試説明会
--	---------------------------------	----------------------------------